

第23回「産科医療補償制度 再発防止委員会」

日時：平成25年5月27日（月）
16：00～18：00
場所：日本医療機能評価機構9階ホール

1. 開 会

2. 議 事

- 1) 再発防止に関するアンケートの集計結果について
- 2) 「第4回再発防止に関する報告書」のテーマの選定について
- 3) その他

3. 閉 会

資料1 再発防止に関するアンケートの集計結果
資料2 「テーマに沿った分析」に関する意見シート

1) 再発防止に関するアンケートの集計結果について

(1) 目的

- 再発防止および産科医療の質の向上の観点から、各分娩機関において「再発防止に関する報告書」等が産科医療関係者に周知されているか、日々の診療等の確認や研修等に活用されているか等について調査を行い、今後の再発防止の取り組みに活かすことを目的にアンケートを実施した。

(2) 対象

- 産科医療補償制度の加入分娩機関3,319施設のうち、病院(300施設)、診療所(300施設)、助産所(全442施設)の計1,042施設を対象に実施した。

(3) 実施時期

- 平成25年1月15日～2月15日

(4) 調査方法

- 病院、診療所は無作為に抽出したそれぞれ300施設、および助産所はすべての442施設を対象に郵送で調査を実施した。
- 率直な意見や感想を回答いただけるよう無記名式とした。
- ただし、回答者の属性が分かるように分娩機関種別、救急指定、周産期指定の欄を設けた。

(5) 結果

①回答率

- 回答率は、病院は49.7%(149件)、診療所は50.7%(152件)、助産所は52.0%(230件)の計51.0%(531件)であった。
- 病院の内訳のうち「救急指定」について、初期救急施設は4%(6件)、二次救急施設は51%(76件)、三次救急施設は22%(33件)であった。
- 病院の内訳のうち「周産期指定」について、総合周産期母子医療センターは9%(14件)、地域周産期母子医療センターは29%(43件)、指定なしは60%(90件)であった。

②集計結果の概要

- 「再発防止に関する報告書」を読んだと回答したのは、第1回、第2回ともに、病院は約70%、診療所は約80%、助産所は90%であった。
- 再発防止に関する報告書が「役に立っている」または「どちらかという役に立っている」と回答したのは、病院は65.8%、診療所は67.1%、助産所は81.3%であった。その理由として「実際の事例を基にした報告書であり提言内容に説得力があるから」がそれぞれ77.6%、74.5%、72.2%と最も多く、次いで「脳性麻痺発症の原因や再発防止に関する新たな知見や情報が得られるから」、「再発防止や産科医療の質の向上につながると思うから」が挙げられた。一方、「役に立っていない」または「どちらかという役に立っていない」と回答したのは、病院は11.4%、診療所は7.2%、助産所は3.9%であった。
- 再発防止に関する報告書に記載されている「産科医療関係者に対する提言」について、「すでにほとんど取り組んでいる」または「すでに一部取り組んでいる」と回答したのは、病院は64.4%、診療所は65.8%、助産所は74.4%であった。

(6) 本アンケートの活用

- 本アンケートの結果については、今後の再発防止の取り組みおよび再発防止に関する報告書のテーマ選定の際に活用する。
- なお、本年5月7日に公表した「第3回再発防止に関する報告書」については、アンケートの結果を踏まえて、分娩機関の施設区分に応じて複数冊の報告書を送付している。

資料1 再発防止に関するアンケートの集計結果

2) 「第4回再発防止に関する報告書」のテーマの選定について

(1) これまで「再発防止に関する報告書」等で取り上げたテーマ

【第1回】

- ・ 分娩中の胎児心拍数聴取について
- ・ 新生児蘇生について
- ・ 子宮収縮薬について
- ・ 臍帯脱出について

【第2回】

- ・吸引分娩について
- ・常位胎盤早期剥離の保健指導について
- ・診療録等の記載について

【妊産婦向け提言チラシ】

- ・「常位胎盤早期剥離ってなに？」
- ※併せて第1・2回のテーマにおける提言（掲示用）を送付。

【第3回】

- ・臍帯脱出について
- ・常位胎盤早期剥離について
- ・子宮収縮薬について
- ・分娩中の胎児心拍数聴取について
- ・新生児蘇生について

(2) 第4回報告書のテーマについて

- 今回のテーマ選定に際し、事前にご意見を聴取した。

資料2 「テーマに沿った分析」に関する意見シート

(3) これまでの委員会におけるテーマ選定に関する主なご意見

- これまでに取り上げたテーマも定期的に分析し傾向をみてはどうか。
- これまでに取り上げたテーマを再び分析するにあたって、件数だけを掲載すると数字が一人歩きすることが懸念されるため、件数だけではなく丁寧な分析が必要である。
- 取りまとめにあたっては、学術的根拠が必要なものと、現在このようなことが起きているという情報提供とを分けて考える必要がある。
- 再発防止委員会から提言したことが実際の医療現場にどのように反映されたか評価し、フィードバックする必要があるのではないか。
- 胎児心拍数陣痛図については、他のテーマとも関連させて取り上げてはどうか。
- 将来的には、正常分娩のデータとの比較が必要である。

3) その他

再発防止に関するアンケート集計結果

1. 基本情報

	加入施設数	送付数		回答数	
		件数	%	件数	%
病院	1,206	300	24.9%	149	49.7%
診療所	1,671	300	18.0%	152	50.7%
助産所	442	442	100%	230	52.0%
合計	3,319	1,042	31.4%	531	51.0%

2. 集計結果

※無回答があるため、各回答の合計が回答数と一致しないものがある。

問	設問	選択肢	病院		診療所		助産所		総数 (参考)	
			件数	%	件数	%	件数	%	件数	%
			問1	「再発防止に関する報告書」やA4版チラシである「妊産婦の皆様へ 常位胎盤早期剥離ってなに?」、「再発防止委員会からの提言」をご覧になりましたか。 (複数回答可)	1. 「第1回 再発防止に関する報告書」を読んだ	109	73.2	126	82.9	207
2. 「第2回 再発防止に関する報告書」を読んだ	111	74.5	127		83.6	207	90.0	445	83.8	
3. 「妊産婦の皆様へ 常位胎盤早期剥離ってなに?」を読んだ	103	69.1	123		80.9	218	94.8	444	83.6	
4. 「再発防止委員会からの提言」を読んだ	101	67.8	112		73.7	200	87.0	413	77.8	
5. いずれも読んでいない	14	9.4	8		5.3	1	0.4	23	4.3	
問2	「再発防止に関する報告書」や「妊産婦の皆様へ 常位胎盤早期剥離ってなに?」、「再発防止委員会からの提言」が産科医療補償制度のホームページに掲載されていることはご存知ですか。	1. 知っており、見たことがある	48	32.2	34	22.4	68	29.6	150	28.2
2. 知っているが、見たことはない		42	28.2	58	38.2	99	43.0	199	37.5	
3. 知らなかった		59	39.6	60	39.5	63	27.4	182	34.3	
問3	「再発防止に関する報告書」をどのように周知・活用していますか。 (複数回答可)	1. 院内で閲覧した	48	32.2	54	35.5	90	39.1	192	36.2
2. スタッフが閲覧できる場所に置いている		47	31.5	44	28.9	92	40.0	183	34.5	
3. 日々の診療等の確認に活用している		25	16.8	45	29.6	66	28.7	136	25.6	
4. 研修会・勉強会等で周知・活用している		29	19.5	20	13.2	52	22.6	101	19.0	
5. 活用していない		28	18.8	21	13.8	11	4.8	60	11.3	
6. 今後活用する予定である		18	12.1	20	13.2	17	7.4	55	10.4	
7. その他		8	5.4	3	2.0	19	8.3	30	5.6	

「7. その他」の主な内容

<回答者本人のみ活用した>

○一人の助産所なので自身で活用した。

<関係者に周知した>

○連携医療機関の希望するスタッフへ貸し出している。

<妊産婦に周知した>

○妊婦が常に閲覧できる場所に設置し説明している。

○保健指導時に使用している。

○母親学級で説明している。

問	設問	選択肢							総数 (参考)	
			病院		診療所		助産所		件数	%
			件数	%	件数	%	件数	%		
問4 「再発防止に関する報告書」は役に立っていますか。	1. 役に立っている	48	32.2	55	36.2	132	57.4	235	44.3	
	2. どちらかという役に立っている	50	33.6	47	30.9	55	23.9	152	28.6	
	3. どちらとも言えない	33	22.1	35	23.0	29	12.6	97	18.3	
	4. どちらかという役に立っていない	4	2.7	5	3.3	7	3.0	16	3.0	
	5. 役に立っていない	13	8.7	6	3.9	2	0.9	21	4.0	
問5 問4で「1.役に立っている」または「2.どちらかという役に立っている」とご回答された理由(複数回答可)	1. 脳性麻痺発症の原因や再発防止に関する新たな知見や情報が得られるから	53	54.1	63	61.8	117	62.6	233	60.2	
	2. 実際の事例を基にした報告書であり提言内容に説得力があるから	76	77.6	76	74.5	135	72.2	287	74.2	
	3. 日々の診療等の確認に活用できるから	48	49.0	67	65.7	96	51.3	211	54.5	
	4. 自施設での研修会・勉強会等に活用できるから	28	28.6	47	46.1	64	34.2	139	35.9	
	5. 再発防止や産科医療の質の向上につながると思うから	54	55.1	53	52.0	132	70.6	239	61.8	
	6. その他	3	3.1	1	1.0	5	2.7	9	2.3	
「6. その他」の主な内容										
<p><自身の知識の向上に役立っている></p> <p>○助産所なので提携する医療機関へ連携するタイミングを決断するために有用である。</p> <p><他の医療従事者への普及・啓発に役立っている></p> <p>○様々なレベルの医療者に有用である。</p> <p>○外部の研修会で活用している。</p> <p><妊産婦への啓発に役立っている></p> <p>○妊婦教室での説明に有用である。</p> <p>○母親学級での話がふくらむ。</p>										
問6 問4で「4.どちらかという役に立っていない」または「5.役に立っていない」とご回答された理由(複数回答可)	1. 脳性麻痺発症の原因や再発防止に関する新たな知見や情報が得られないから	4	23.5	4	36.4	3	33.3	11	29.7	
	2. 提言内容に納得できないから	0	0.0	2	18.2	1	11.1	3	8.1	
	3. すでに同様の研修会・勉強会等を行っているから	1	5.9	4	36.4	1	11.1	6	16.2	
	4. 日々の診療等の確認に活用できないから	2	11.8	2	18.2	2	22.2	6	16.2	
	5. 報告書の構成や内容が分かりにくいから	5	29.4	1	9.1	1	11.1	7	18.9	
	6. 再発防止や産科医療の質の向上につながると思わないから	1	5.9	4	36.4	3	33.3	8	21.6	
	7. その他	5	29.4	2	18.2	4	44.4	11	29.7	
「7. その他」の主な内容										
○少人数の正常産だけ扱っているので、参考程度にしたい。										

問	設問	選択肢							総数 (参考)	
			病院		診療所		助産所		件数	%
			件数	%	件数	%	件数	%		
問7	「再発防止に関する報告書」に記載されている「産科医療関係者に対する提言」に取り組みましたか。	1. すでにほとんど取り組んでいる	49	32.9	32	21.1	83	36.1	164	30.9
		2. すでに一部取り組んでいる	47	31.5	68	44.7	88	38.3	203	38.2
		3. まだ取り組んでいないが、これから取り組む予定である	37	24.8	37	24.3	44	19.1	118	22.2
		4. 取り組む予定はない	6	4.0	6	3.9	2	0.9	14	2.6
問8	平成24年12月に「第1回 再発防止に関する報告書」と「第2回 再発防止に関する報告書」の巻末に記載されている「再発防止委員会からの提言」を改めて送付しました。再発防止委員会では年1回の報告書の公表に加え、提言内容の振り返りのために、報告書の公表から半年後を目処に「再発防止委員会からの提言」を改めて送付することとしております。今後も同様に送付することについてどのように思われますか。	1. 良いと思う	98	65.8	98	64.5	165	71.7	361	68.0
		2. どちらかというが良いと思う	29	19.5	31	20.4	33	14.3	93	17.5
		3. どちらとも言えない	15	10.1	14	9.2	22	9.6	51	9.6
		4. どちらかというが良いと思わない	1	0.7	0	0.0	2	0.9	3	0.6
		5. 良いと思わない	2	1.3	2	1.3	3	1.3	7	1.3
問9	平成24年12月に「妊産婦の皆様へ常位胎盤早期剥離ってなに？」のA4版チラシを送付しましたが、どのように活用されましたか。 (複数回答可)	1. 妊産婦への保健指導の際に活用している	29	19.5	37	24.3	128	55.7	194	36.5
		2. 待合室などに置いている	62	41.6	44	28.9	93	40.4	199	37.5
		3. 今後活用する予定である	33	22.1	30	19.7	38	16.5	101	19.0
		4. 活用していない	34	22.8	41	27.0	25	10.9	100	18.8
		5. その他	6	4.0	8	5.3	9	3.9	23	4.3
「5. その他」の主な内容 ○診察室に掲示している。 ○スタッフの勉強会で使用している。 ○自分が時々読み返し、忘れないようにしている。										
問10	問9で「4. 活用していない」とご回答された理由 (複数回答可)	1. 記載の内容についてはすでに院内で保健指導を行っているから	18	52.9	14	34.1	18	72.0	50	50.0
		2. 記載の内容が妊産婦を不安にさせると思うから	9	26.5	22	53.7	13	52.0	44	44.0
		3. その他	10	29.4	6	14.6	4	16.0	20	20.0
「3. その他」の主な内容 ○元々リスクのある妊婦には必ず説明している。 ○陣痛や少量の出血は正常の妊婦の大半が妊娠中に経験するため役立たない。										
問11	平成24年12月に「妊産婦の皆様へ常位胎盤早期剥離ってなに？」のA3版ポスターを送付しましたが、どのように活用されましたか。 (複数回答可)	1. 妊産婦の見えるところ(待合室など)に掲示している	57	38.3	45	29.6	82	35.7	184	34.7
		2. 今後掲示する予定である	29	19.5	26	17.1	29	12.6	84	15.8
		3. 掲示していない	55	36.9	70	46.1	91	39.6	216	40.7
		4. その他	2	1.3	3	2.0	16	7.0	21	4.0
「4. その他」の主な内容 ○掲示だけではなく、診察時に丁寧に話している。 ○産科医療補償制度の説明時に話している。 ○母親学級で活用している。										

問	設問	選択肢	病院		診療所		助産所		総数 (参考)	
			件数	%	件数	%	件数	%	件数	%
問12	問11で「3. 掲示していない」とご回答された理由(複数回答可)	1. 記載の内容についてはすでに院内で保健指導を行っているから	21	38.2	30	42.9	40	44.0	91	42.1
		2. 記載の内容が妊産婦を不安にさせると思うから	14	25.5	34	48.6	34	37.4	82	38.0
		3. 掲示するスペースがないから	19	34.5	24	34.3	36	39.6	79	36.6
		4. その他	12	21.8	9	12.9	16	17.6	37	17.1
「4. その他」の主な内容 ○健診を受けていれば事前に診断できるかのような誤解を与える可能性がある。 ○早期剥離以外にも注意すべき疾患は多々あり、これだけをポスターにして啓発する理由がない。 ○胎盤早期剥離を疑う程の出血や腹痛があれば、受診中の医療機関に必ず問い合わせるはずである。 ○A3版ポスターは大きいのでA4版チラシを使用している。										
問13	これまでに取り上げた内容・テーマで特に関心をもったものはどれですか。(複数回答可)	1. 数量的・疫学的分析の集計表(第1・2回報告書)	40	26.8	39	25.7	100	43.5	179	33.7
		2. 脳性麻痺発症の主たる原因(第2回報告書)	85	57.0	85	55.9	155	67.4	325	61.2
		3. 分娩中の胎児心拍数聴取について(第1回報告書)	80	53.7	82	53.9	173	75.2	335	63.1
		4. 新生児蘇生について(第1回報告書)	75	50.3	86	56.6	158	68.7	319	60.1
		5. 子宮収縮薬について(第1回報告書)	75	50.3	67	44.1	92	40.0	234	44.1
		6. 臍帯脱出について(第1回報告書)	66	44.3	64	42.1	123	53.5	253	47.6
		7. 吸引分娩について(第2回報告書)	71	47.7	70	46.1	77	33.5	218	41.1
		8. 常位胎盤早期剥離の保健指導について(第2回報告書)	71	47.7	63	41.4	159	69.1	293	55.2
		9. 診療録等の記載について(第2回報告書)	53	35.6	53	34.9	125	54.3	231	43.5
		10. 特に関心をもった内容・テーマはない	17	11.4	9	5.9	2	0.9	28	5.3
問14	今後、「再発防止に関する報告書」等で取り上げて欲しいテーマについてご記入ください。(記入ありの件数)	23	15.4	18	11.8	44	19.1	85	16.0	
主な内容 羊水塞栓について(5件) 早期母子接触について(4件) 感染について(4件) 産科出血について(4件) 新生児管理について(4件) 妊娠高血圧症候群について(4件) TOLAC(帝王切開既往妊婦の経膈分娩)について(3件) 吸引・鉗子分娩、クリステル胎児圧出法について(3件) 子宮収縮薬について(3件) 常位胎盤早期剥離について(3件) 妊産婦への保健指導について(3件) 人員配置について(2件) 胎児心拍数モニターについて(2件) 医療介入について(2件) 休日・夜間の診療体制について(2件) これまでに取り上げたテーマの継続的な分析について(2件) 子宮破裂について(2件) 人工破膜について(2件) 分娩誘発・促進について(2件) 母児間輸血症候群について(2件) 無痛分娩について(2件) 臍帯関連について(2件)										
問15	「再発防止に関する報告書」の送付部数についてお伺いします。報告書は各分娩機関に1冊ずつ送付しておりますが、十分でしょうか。	1. 十分である	67	45.0	102	67.1	212	92.2	381	71.8
		2. 足りない(※次頁参照)	76	51.0	45	29.6	14	6.1	135	25.4

問	設問	選択肢	病院						診療所		助産所		総数 (参考)					
			件数		%		件数		%		件数		%		件数		%	
			件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%		
問16	その他、「再発防止に関する報告書」や「妊産婦の皆様へ、常位胎盤早期剥離ってなに？」、「再発防止委員会からの提言」についてご意見・ご要望がございましたら、ご記入ください。 (記入ありの件数)		17	11.4	19	12.5	56	24.3	92	17.3								
<p>主な内容</p> <p><報告書や再発防止の取組を評価する意見(25件)> ○助産学生の教育でも活用している。 ○事例は教科書以外目にする機会がなかったので、大いに役に立っている。 ○ポスターは常に妊産婦の目に触れ、それを見ながら説明するので説得力がある。 ○日々の仕事の中で安全管理の点を再確認・再認識するためにも大変有用である。</p> <p><報告書や再発防止の取組の改善を求める意見(18件)> ○不用意に何でも掲示して不安を与えるべきではない。 ○胎盤早期剥離や臍帯脱出は数十年前から周産期医療の主要課題であり、産科医療補償制度によって初めて注目されたかのような考えは、正しい周産期医療の歩みをゆがめる恐れがある。 ○ポスターや妊産婦向けのチラシは、もう少し簡潔で平易な表現で作成して欲しい。 ○恐怖心を与えない保健指導のあり方についてのパンフレットやチラシを作成して欲しい。 ○リスクのない妊産婦でも起こるのは生活習慣が関係しているのではないか。その点も分析するとより良い指導ができる。</p> <p><その他(49件)> ○脳性麻痺や早期剥離をなくす努力は必要だが、今の医療水準では限界があることを一般の人にも周知すべきだと思う。 ○もっと一般の方が関心を持って産科医療をみつめて欲しいので、情報を広く世間に周知して欲しい。</p>																		

問15 報告書の必要部数

	病院		診療所		助産所	
	件数	%	件数	%	件数	%
十分である (1冊)	67	45.0%	102	67.1%	212	92.2%
2冊	15	10.1%	19	12.5%	10	4.3%
3冊	35	23.5%	19	12.5%	3	1.3%
4冊	4	2.7%	1	0.7%	0	0.0%
5冊	15	10.1%	4	2.6%	1	0.4%
6冊	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
7冊	2	1.3%	0	0.0%	0	0.0%
8冊	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
9冊	1	0.7%	0	0.0%	0	0.0%
10冊	2	1.3%	1	0.7%	0	0.0%
15冊	1	0.7%	0	0.0%	0	0.0%

テーマに沿った分析に関する意見シート

テーマに沿った分析				
通番	取り上げたいテーマ	委員名	取り上げたい理由	備考
1	子宮内感染	池ノ上委員長	-	-
2	子宮内感染	岩下委員	そろそろ取り上げてもいいのではないか	-
3	子宮内感染、絨毛膜羊膜炎	箕浦委員	重要な原因の一つであるが、これまで取り上げられていない	-
4	絨毛羊膜炎の診断・対応	藤森委員	-	-
5	子宮破裂	池ノ上委員長	予兆を捉えるという観点から、CTGの分析とあわせて考察していくべき	-
6	子宮破裂	勝村委員	-	-
7	子宮破裂の対応・診断	藤森委員	-	-
8	クリステレル	池ノ上委員長	-	-
9	クリステレル	勝村委員	具体的な注意喚起をする必要性の有無を分析、研究する必要がある	-
10	吸引+クリステレル	箕浦委員	-	-
11	吸引分娩	勝村委員	再度、疫学的にデータを見る必要がある	-
12	常位胎盤早期剥離	池ノ上委員長	-	-
13	常位胎盤早期剥離	箕浦委員	常位胎盤早期剥離については引き続き検討、提言が必要	-
14	臍帯因子	池ノ上委員長	-	-
15	臍帯因子	箕浦委員	臍帯脱出以外の臍帯因子が関係していると思われるケースが多い	-
16	妊娠高血圧症候群	箕浦委員	これまで取り上げられていないため	-
17	妊娠糖尿病・妊娠高血圧症候群に伴う胎児機能不全の診断・対応	藤森委員	-	-
18	分娩誘発・促進	箕浦委員	-	-
19	前回帝王切開妊婦の出産	勝村委員	-	-
20	胎児母体間輸血症候群の診断・対応	藤森委員	-	-
21	胎児心拍数モニタリング	箕浦委員	-	-
22	胎児発育遅延の診断・対応	藤森委員	-	-
23	アプガースコア(1分後、5分後)のよい背景要因と脳性麻痺との関連について	小林委員	ある程度の人数のデータが集まっているので、背景要因に関する分析が可能と思われるため	アプガースコアが7点以上の児が第3回報 告書の時点で、1分後で12人、5分後で28 人いる
24	診療体制	岩下委員	常勤1人の場所で発生するのが多いのか、ハイリスクを扱う周産期センターが多いのか、個人開業や助産所が多いのか等	-
25	診療録等の記録	勝村委員	制度や医療の根幹に関わる部分のため	産科医療の標準的な記録の仕方について 周知できるように、コンパクトにまとめられ るようなマニュアル化 妊婦や家族への説明と同意の文書の標準 的な雛形の作成など
その他、ご意見				
1	分娩取り扱い施設での帝王切開の可否について	藤森委員	分娩取り扱い施設での帝王切開の可否について、吸引分娩で娩出できず、母体搬送するという症例などをなくすよう検討してはどうか	-
2	再発防止委員会として提言を発生させた効果について	藤森委員	経時的な変化を解析できないか。再発防止委員会の提言だけではもちろんなく、学会のガイドラインなども関与していると思うが、再発防止委員会として提言を発生してきた効果について検証してはどうか	例えば、胎児心拍数聴取や子宮収縮薬使用について、ガイドラインに添っていない症例が経時的に増えていないか。きちんと守られていてもCPIになっているのか、提言の効果についても調べられないか。胎児心拍数聴取、子宮収縮薬、新生児蘇生は継続的に見ていく必要があるが、そのなかで、まとめて全例での解析ではなく、経時的に症例への対応の変化がないかどう
3	その他	藤森委員	常位胎盤早期剥離や臍帯脱出については第3回で提言を出したので、別な項目としたほうがよい	-